



「広尾の子どもは広尾で育てる」

広尾町

中高一貫教育だより

第38号

平成26年
3月24日発行

発行者
広尾町中高一貫教育推進委員会



中高一貫進路講話が行われました

「普段からの勉強が大事です」「目標を早く持ち、それに向かって出来ることを」「面接の祭には、笑顔を忘れずに…」「自分の好きなこと、興味のあることを大切に！」

進路に対する意識を高めるとともに、高校入学後の目標をしっかりとって生活することを目的に、平成18年度から行われている中高一貫進路講話。今年も厳しい試験を乗り越えた広尾高校の3年生6名を招き、2月3日（月）広尾中学校体育館において開催されました。

講話を行ったのは発表順に、前田志織さん（北見工業大学合格）、臼井崇将さん（専門学校日本福祉看護・診療放射線学院合格）、吉田希美さん（JA北海道厚生連旭川厚生看護学院合格）、志民寛明さん（広尾町役場合格）、折笠斗也さん（南十勝消防事務組合合格）、永井早紀さん（(株)ホームックニコット合格）の6名。



講話の中で高校生からは、高校での学習の様子と効果的な学習法、面接試験のアドバイスのほか、目標をもつことや文武両道の大切さ、資格取得や読書のすすめなど多岐にわたっており、中学生にとって有益な情報が多く詰め込められていました。後輩たちに向かって語りかける先輩の言葉に対して、後輩たちが熱心に聞きながらメモをとっている姿が印象的でした。

講話を終えてインタビューに答えていただいた前田志織さん。「大学進学という目標が定まってからは、資料を何度も見つめ自身のモチベーションを高めました。（後輩たちへは）自分の好きなことを大切に、夢に向かって頑張ってください。」と話していました。

広尾中学校3年 日沼愛里さんの感想

今回の中高一貫進路講話を聞いて、自分の進路達成をするためにはしっかりと勉強をし、普段から責任をもって行動することが大切であると学びました。今回の進路講話を参考にして、これからも目標に向かって頑張っていきたいです。



豊似中学校2年 大町ピータ龍馬さんの感想

僕は広尾高校の講師の方々の話を聞いて、2つ感じたことがあります。一つ目は中学校からしっかり勉強して基礎をしっかり固めておかないといけないことです。これは講話をしてくださった皆さんが言っていたことなので、今のうちからしっかり勉強しようと思いました。もう一つは生活態度を改善することです。これは敬語など就職するのにも、面接などの時に大切なことで、すぐにも改善できると思ったからです。今回の講話を通して、たくさんのことを学ぶことが出来ました。



SCC(中高乗り入れ授業)の記録

(前号でもお知らせした通り…)昨年度まで「PS21」という名称で行われていた中高の乗り入れ授業ですが、今年度から「SCC」と名称を変え新たな取り組みを見せているところです。「S」は「Secondary」で「中等教育」、「C」は「Collaborated」で「協力し合う」、もう一つの「C」は「Class」で「授業」。つまり「**中高で協力をし合い授業を作る**」という意味です)。中高が同等に授業に携わりコラボレーションし授業を作っていくという方向性を打ち出し、実践していきたいという気持ちが込められています。

ここでは昨年の12月以降に行われた各校の実践記録を一部抜粋して紹介します。



★**広尾高校**★ ↑北海道大学の住吉教授をお招きして行われた放射線に関わる出前授業(理科)



★**広尾中学校**★ ↑数学の授業で高校生が中学生に対し学習支援をしている様子



★**豊似中学校**★ ↑北方領土に関わる乗り入れ授業(社会科) 講師:中野先生(広尾高校)

授業を終えての感想(一部抜粋)

広尾中学校3年 石澤祐弥さん(国語科の乗り入れ授業より)

僕は今回の授業を受けてみて、いつもは先生が一人ですが、二人の先生と一緒に授業をしてくれると質問がしやすく、分かりやすかったです。これからもこのような機会を作っていただくと嬉しいです。

豊似中学校1年生(社会科・北方領土に関わる乗り入れ授業より)

- ・教科書にのっていないことも解ったので良かった。 ・クイズなどの質問もあって解りやすかった。
- ・自分も北方領土に行きたいと思った。 ・色々知らないことがわかって良かった。



高校生による海外派遣学習会

毎年冬休みに中学生がアメリカに行き、ホームステイなどの活動を行う「海外派遣事業」。アメリカに行った時に役立つ情報を学習することを目的に、昨年12月12日コミュニティセンターにおいて高校生による学習会が行われました。講師を担当したのは、昨年広尾高校からカナダに派遣された高校生5名（中学時代海外派遣を経験した人もいます）。自身がカナダに行った際の体験談の他、質疑応答が行われました。経験に基づいた話はどれも興味深いもので、海外派遣に対して期待が膨らむ有意義な学習会となりました。



中学生が感じる不安や疑問を質問すると高校生が解りやすく回答してくれました

広尾中学校2年 西脇美理さんの感想

私は高校生の皆さんから体験談を聞いたことで、抱いた不安を消すことができ、現地では積極的になれました。大変ありがとうございました。

豊似中学校2年 山口悠斗さんの感想

アドバイスの中で一番参考になったのは、飛行機の中での過ごし方です。そのおかげ飛行機の中でも楽しく過ごすことができました。



中高一貫生徒会交流

中高の生徒会役員が集まり、生徒会活動の交流を通じ、リーダーとしての資質向上や生徒会活動の活性化を図ることを目的に、昨年12月13日、広尾町中高一貫生徒会交流が行われました。参加したのは、各校で生徒会リーダーを務めている21名。それぞれの自己紹介、各学校が考える広尾町（地域）の良いところの発表と意見交流を中心に行われました。地域の良いところや地域の行事について事前に調べ、それを発表していました。



画像をふんだんに使ったパワーポイントがとても見やすかったです。

広尾高校2年 吉田 巧さんの感想

今回の交流で地域としての良いところを考えることができたので、それを今後の私たちの活動に反映し、広尾町に貢献できるよう努力したいです。

広尾中学校2年 津端弓奈さんの感想

この交流で広尾町の良いところを再確認できたり、新しい発見もあったのでよい経験になりました。このような交流をぜひ増やしていきたいです。



中高一貫オープン
クラスウィーク
十二月二〜六日

中高一斉教科部会
(年度反省の会議)
一月二十二日



速報 平成25年度広尾高校卒業生 進路状況

今年度卒業生の進路状況は、次のような結果となりました。

生徒たちは、毎日の授業を大切にすることはもちろん、積極的に教科担任へ質問を行ったり、添削指導を受けたりするなど熱心に学習に取り組み、礼儀正しい挨拶やマナーを心掛け、早くから進路活動を意識して生活をしてきました。それが、進路実現につながったのだと思います。高校卒業後も、これまで学んだこと、得たものを活かし、それぞれの分野で活躍してほしいと思います。

広尾高校卒業生進路状況(3月7日現在)

○就職状況 (就職志望者 20名)

進路区分	希望者数	決定者数	内 定 先
町 内	12	12	十勝グリーンセンター株式会社、とかち飼料株式会社、広尾漁業協同組合(2名)、拓殖工業株式会社、十勝海運荷役株式会社、株式会社アルシステム、株式会社畑下組、株式会社ホマックコット、旭電機株式会社、なかの歯科医院
管 内	3	3	有限会社ワグ イッシュ、南十勝酪農ヘルパ-有限責任事業組合、(株)忠類振興公社
道 内	0	0	
道 外	0	0	
公務員	3	3	南十勝消防事務組合(2名)、広尾町役場
その他	2	1	
受験中・結果待	—	1	
合 計	20	20	

○進学状況 (就職志望者 30名)

進路区分	希望者数	決定者数	内 定 先
4 大国公立	4	4	弘前大学、札幌市立大学、北見工業大学、釧路公立大学
4 大私立	7	6	北海学園大学、札幌学院大学(2名)、札幌国際大学、北海道情報大学、北海道科学大学
短大国公立	0	0	
短大私立	2	2	帯広大谷短期大学(2名)
看護学校	3	3	国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校、JA北海道厚生連旭川厚生看護専門学校、釧路市医師会看護専門学校
専門・専修学校	14	14	札幌医療秘書福祉専門学校、札幌こども専門学校(2名)、専門学校日本福祉看護・診療放射線学院、大原医療福祉専門学校、学校法人工藤学園愛犬美容看護専門学校、札幌リハビリテーション専門学校、北海道理容美容専門学校、帯広調理師専門学校(2名)、北海道立帯広高等技術専門学院(2名)、北海道農業協同組合学校、北海道高等盲学校
受験中・予備校	—	1	
合 計	30	30	